

BUSAN

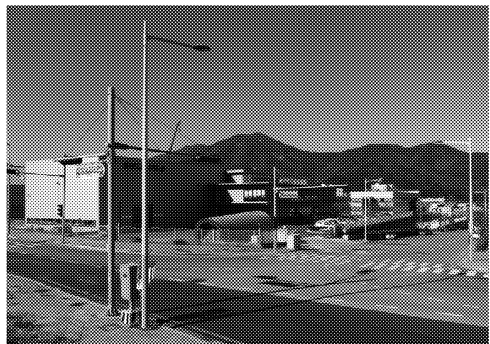
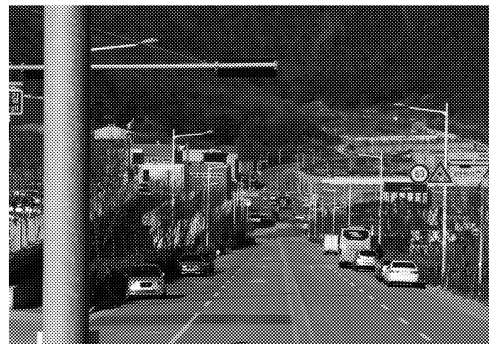
井水：お忙しいところお時間をいただきまして、ありがとうございます。

徐：自然や温泉もある風光明媚(めいび)な大都会、釜山広域市へようこそ。当市は2012年の調査で、人口360万人、輸出額は135.6億ドルの大都市です。さらなる発展に向けて、かじを切るためにいろんな策を講じています。

井水：釜山は北米と欧州の幹線路上に位置する戦略的要衝地として魅力が増えています。外国人に人気のある住宅街「セントラムリンシティ」や、釜山グローバルセンターなどがあり、外国人に住みやすい都市となっています。また、海外企業専用の広大な工業団地を急ピッチで整備されていて、多くの企業が入居を決めていますね。

徐：市内には、経済自由区域と外国資本を誘致するための造成地域(美音部品素材専用工業団地等)があります。ほかにも先端産業や国際物流、研究開発団地等の産業を集積する洛東江下流地域の複合型自給自足都市「エコデルタシティ」の造成も進めています。以前、韓国全土に開発制限区域「グリーンベルト」がありましたが、制限が徐々に解除され、産業団地として造成が進行しています。ハード以外にも、外国資本の投資誘致の具体策として、国税・地方税の減免策などの施行を進めています。

かつて、釜山は韓国経済発展のけん引役でした。産業構造が変化するにつれて他の地区がその役割を担うようになり、釜山は人口減少や企業転出の憂き目にあい続けています。工業団地が不足していたことが理由の一つでした。そこで工業団地造成と企業誘致の積極化へかじを切っています。この取り組みが軌道に乗れば、若年層も釜山にやってくるのではないかと期待しています。



立地が進む 美音部品素材専用工業団地

教育と文化を重視

井水：釜山はさまざまなインフラがそろっています。もちろん外国人向けの教育施設も完備されています。外国人専用工業団地の近くに、FAUというドイツ系の大学を誘致されたとお聞きました。理工系の大学や研究施設等も多いようですから、人材供給の面でも非常に期待ができ、企業にとっても安心して進出できる状況でしょう。

徐：市長として、釜山地域の経済が活性化する環境を構築するために、教育と文化関係の施設整備を重要視しています。その上で、大学の役割は非常に重要だと思っています。企業のニーズに合った人材を供給できるか、技術革新を起こせる人材を提供できるかが非常に肝心なため、大学を中心とした研究・教育体制の構築をより強く推進していきます。

釜山広域市
徐 秉洙 市長

韓国南部の主要都市、釜山広域市。日本の各主要港から2時間以内で到着する同市は「日本に最も近い外国人投資地域を持つ」。世界に開かれた海洋首都を掲げ、工業団地の造成や研究開発拠点の整備などを通じて、海外企業の誘致と産業育成に積極的に取り組んでいる。釜山広域市の徐秉洙(ソ・ビョンソ)市長に、日刊工業新聞社社長の井水治博が、市の魅力やビジョンについて聞いた。

北東アジアの“グローバルビジネスハブ”
韓国・釜山広域市

多彩な産業を連携し成長

徐：釜山の産業は大きな2本の柱で構成しています。1本目は「造船機資材」「海洋プラント」を中心にハード型の産業。2本目が「映画・映像、ゲーム」などのコンテンツ産業と「MICE(国際会議、展示会、研修視察)」を中心とした観光産業を組み合わせたサービス産業。この2本柱を連携させてさらなる経済成長に取り組もうと考えています。

井水：“工業団地を軸にした釜山広域市の街づくり”は、規制緩和が契機だったと思います。安倍政権の経済政策「アベノミクス」における重要政策の一つにもなっているように、日本でも規制緩和は経済成長における大きなテーマの一つです。産学連携も非常に大きなテーマで、大学や企業がお互いに切磋琢磨(せつさたくま)しながら、連携すべきところはしていくというスタンスで、ともに伸びていくという道を探るべきだと思っています。

徐：14年10月に市内で開いた国際電気通信連合(ITU)全権会議において、「釜山イニシアチブ」と「釜山宣言」を採択しました。主な内容は、就業人口の増加や情報格差の減少などに取り組むことによる情報通信技術(ICT)基盤の強化と、システム構築を加速させるというものです。なぜここまでICTに力を入れるか。釜山市内の産業が連携する上で重要な技術だからです。

朴槿恵大統領は、経済活性化において「創造経済」を提唱しています。「製造業などの既存産業とICT・科学技術が融合されることで、雇用創出と成長につながる」という考え方で、国内の各都市に創造経済革新センターを設けて、発展させようというロードマップがあります。釜山もセンター設置都市の一つになっており、各産業を連携させ、より高付加価値な産業に育てようと思っています。

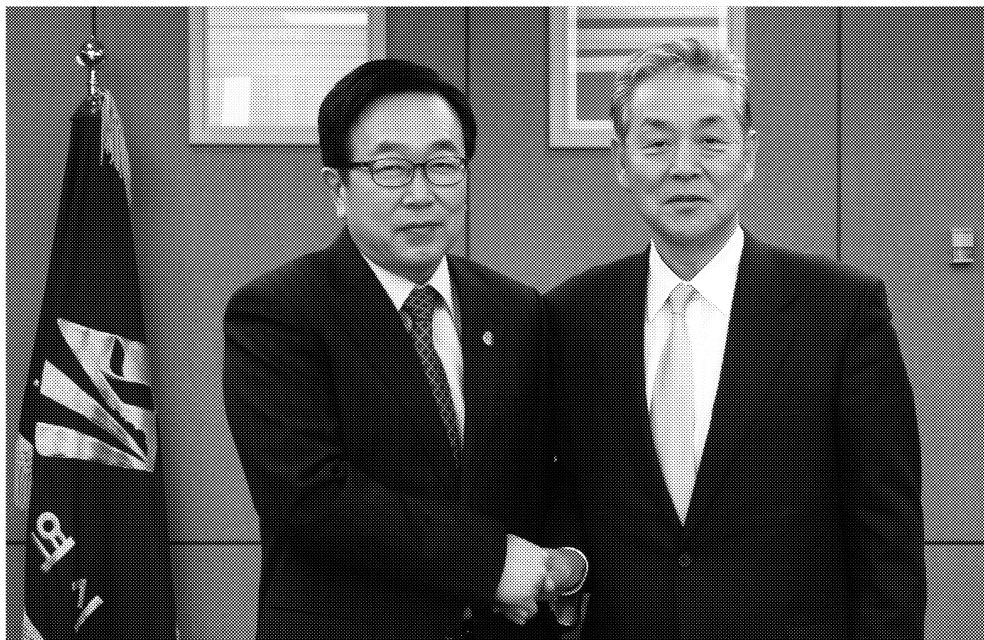
井水：今、ドイツが製造設備とICTを統合してモノづくり基盤の強化を目指す国家プロジェクト「インダストリー4.0」に取り組んでいるように、やはりICTの活用が、モノづくり高度化に欠かせませんね。市長は西江大学校で経済学を専攻し、数学も学ばれています。理数系にお詳しく、モノづくりもICTにも精通され、モノづくり発展に向けて遺憾なくリーダーシップを発揮されるのではないかと期待しております。

日韓での共同事業の可能性

井水：今年は「日韓国交正常化50周年」を迎えます。両国の政治的な緊張関係はありますが、経済面においては、世界各地で協業している案件が多数あります。今後も「次の50年」に向けて両国が連携して、第三国のインフラやエネルギーを開発するプロジェクトは大いに進めて行くべきだと考えています。

徐：私は、現在の政治的な緊張関係を長期化させてはいけないと思っています。緊張の解消に、民間レベル、自治体レベルでの交流活性化は不可欠です。今後も両国の強みを生かしながら協業していくマインドを持ち続けることが大切だと思っています。

井水：私も全く同感です。ありがとうございました。



日本に一番近い工業団地

北東アジアのBUSAN釜山
グローバルビジネスハブDynamic
BUSAN

釜山広域市は人口360万を擁する韓国第2の都市です。韓国で日本に一番近い街と言われ、釜山(金海)国際空港から東京、大阪、名古屋、札幌、福岡といった主要都市と直結しています。また、釜山(新)港は国際港として開港以来、世界の5大コンテナ港として世界物流の戦略的拠点として成長しています。優れた人的資源、堅調な地域経済を備えると同時に、さまざまなインセンティブやニーズにマッチした行政サービスを用意して、日本企業に最適の投資環境を提供します。

日韓における投資コストの比較(一例)

区 分		釜山(US\$)	横浜(US\$)	コストダウン(%)
製造業賃金（月）	一般公職	1,696	3,952	57
	エンジニア	2,156	5,007	57
	中間管理職	3,075	6,789	55
工業団地 (釜山美音 部品・素材外国人投資地域)	賃貸料（㎡ / 月）	0.4	16.5	98
UTILITY	業務用電気料（月額基本料 / kWh)	4.2	20.5	80
	通信料（月額基本料）	4.5	106	94
	業務用水道料（月額基本料 / ㎡）	0.02	19.3	99
	業務用ガス料（㎡）	0.68	0.82	17
税 金	法人税	20%	28%	29

出所) <http://www.jetro.go.jp>

■ 今、北東アジアに、新たなビジネスチャンス!

釜山鎮海経済自由区域(BJFEZ)内に位置し、部品・素材関連産業に最適の都市型先端産業地域「美音 部品・素材外国人投資地域」をはじめ、国際競争力を備えた工業団地を用意しています。すでに、700社以上の海外企業が進出しており、製造・物流ハブとしてはもちろん、金融・貿易ハブ、観光・文化ハブを目指し成長を続けています。

美音(Mieum)「外国人投資地域」-都市型先端産業地区

団地総面積	108.9万坪(工業用地52万坪,48%)
外国人投資地域	10万坪
入居資格	100%外国人投資企業及び外国企業の持分30%以上の合併企業
入居対象業種	部品素材企業(機械類、船舶・自動車部品など)

	企業名	投資国	敷地(坪)	入居	備考
入居実績 (6カ国8社)	Wilo-pumps	ドイツ	15,630	12年5月	稼動中
	Geislinger	オーストリア	3,000	12年4月	稼動中
	Bosch-Rexroth	ドイツ	13,425	12年6月	稼動中
	Höganäs AB	スウェーデン	3,000	13年1月	稼動中
	HAMAI	日本	1,452	13年3月	稼動中
	PraxAIR	アメリカ	6,174	14年3月	工場建築中
	Lanxess	ドイツ	10,260	14年1月	工場建築中
	Burckhardt Compression	スイス	3,000	15年1月	工場建築中
入居方式	50年間長期賃貸、更新可能(賃貸料:17,900ウォン/坪/年) 部品素材企業が500万ドル以上投資する場合、賃貸料免除				
土地利用	建蔽率80%、容積率350%				
入居可能残余地	約44,000坪				

国際産業物流都市内「第2の外国人投資地域」指定

団地総面積	171万坪(産業・物流用地103万坪,60%)
外国人投資地域	11.5万坪
入居時期	2014年下半年
入居対象	部品素材企業(機械類、船舶・自動車部品など)
その他	入居資格及び条件などは「美音外国人投資地域」と同じ

韓国海洋産業の拠点「海洋プラント研究開発特区」

面積	426.5万坪
事業期間	2013年～2020年
主要機能	造船海洋プラント産業のイノベーションクラスター

釜山・金海空港近隣の「航空産業クラスター造成」

面積	28.4万坪(既存21.5万坪,追加7万坪)
事業期間	2020年まで
主要機能	航空機組立、複合材料生産工場、MROセンター、民需用航空機国際共同開発センター、自動物流センターなど

□お問い合わせ

 釜山広域市 投資誘致課 (日本語で応対いたします)

釜山広域市 蓮堤区 中央路 1001(611-735) TEL: +82-51-888-4464 FAX: +82-51-888-4449
Homepage: <http://busan.investkorea.org> E-mail: motohiro72@korea.kr